

10 月度理事会議事録（2024 年 10 月 8 日（火）開催）

1. 会長報告（9 月 10 日（火）～10 月 7 日（月）出席案件）

- 9/10（火）日本人会・理事会 於：本館
- 9/14（土）敬老の日祝賀会 於：本館
- 9/14（土）記者会コンペ 於：ラムルッカ・カントリークラブ
- 9/19（木）日本人納骨堂秋季彼岸法要 於：日本人納骨堂
- 9/24（火）JETRO バンコク事務所開設 70 周年行事 於：Park Hyatt Bangkok
- 9/29（日）第 51 回・日本人会チャリティーバザー 於：TRUE ICON HALL, ICONSIAM
- 10/4（金）日本人会・企画推進部会及び三役会 於：本館

2. 一般報告（事務局）

（1）9 月度個人会員動向

入会者 113 名 退会者 72 名 現会員数 4,849 名（内、準会員 32 名 会友会員 200 名）
（前年同月 4,894 名・前年同月比 99.1%）

（2）9 月度賛助会員

〈入会 4 社〉

- ・TSK Laboratory Japan（日本の生検針・特殊針メーカー）
- ・Japan Agri Challenge Asia Co.,Ltd.（トマト・その他野菜の販売生産）
- ・Co.,En（墓じまいの代行ビジネス）
- ・EPSON（Thailand）Co.,Ltd.（プリンター、プロジェクターの販売、アフターサービス）

〈退会 2 社〉

- ・Bridge Integration Co.,Ltd.
- ・Verso International School

現会員数 499 社（前年同月 515 社・前年同月比 96.7%）

（3）会員優待店

【脱退店舗】

- ・Vet4 Animal Hospital
- ・Westell Language School
- ・KARADA（4 店舗）

現在の有効店数 84 店舗

（4）9 月度会館来訪者数

本館：延数 246 名（実数 174 名）

別館：延数 2,252 名（実数 741 名）

合計：延数 2,498 名（実数 915 名）

（前年同月 延数 2,102 名（実数 873 名）前年同月比 118.8%（104.8%））

（5）会館貸出サービス

・9～11 月の法人利用を紹介した。9 月・10 月・11 月と説明会や販売会、会議利用の予約を頂いている。

(6) 8月度寄贈報告

- ・本の寄贈

広瀬賢一様、他2名様より、合計116冊寄贈頂いた。

(7) 9月度会計報告

- ・9月度収入は、217万バーツ（前年同月 221万バーツ 前年同月比98.0%）
- ・9月度支出は、162万バーツ（前年同月 167万バーツ 前年同月比97.0%）
- ・単月収支は、55万バーツ（前年同月 54万バーツ 差額 4万バーツ）
- ・累計収支は、159万バーツ（前年同月 72万バーツ 差額 87万バーツ）

(8) 2024年度上期実績報告

- ・2024年度上期収入は、1,392万バーツ（前年実績 1,304万バーツ 前年比106.8%）
- ・2024年度上期支出は、1,233万バーツ（前年実績 1,232万バーツ 前年比100.1%）
- ・2023年度上期収支は、+159万バーツ（前年実績 +72万バーツ 差額+87万バーツ）
- ・個人会費、賛助会費ともに前年に比べ増収傾向にある。会館施設利用料については、本館駐車場の値上げしたこともあり増収につながっている。昨年伸び悩んでいた広告関連の収入は大幅に増加し（前年比184%）、今年度の収入を支えている。
- ・給与・福利厚生費・その他総務費に関しては前年より減少。別館の家賃が10%値上がり（218,590バーツ→235,618バーツ）したのに伴い、会館維持費が増加している。但し、支出全体としては、昨年度並みに推移している。

(9) その他報告

- ・10月の主な会議日程と各同好会・部会など主な行事日程を確認した。

3. 共催・後援名義・ロゴ使用申請（事務局）

対象事業名：ピンクリボン特別セミナー

- ・開催日：2024年10月30日（水） 於：日本人会別館
- ・主催：サミティベート病院・サイアム高島屋
- ・要請事項：ロゴ使用、広報協力、会館無償貸出

→異議なく承認された。

対象事業名：The Wagashi & Ikebana

- ・開催日：2024年11月11日（月）～26日（火） 於：ICONSIAM
- ・主催：サイアム高島屋
- ・要請事項：ロゴ使用、広報協力

→異議なく承認された。

対象事業名：鳥羽市帰国移住セミナー

- ・開催日：2024年11月30日（土） 於：日本人会別館
- ・主催：三重県鳥羽市
- ・要請事項：ロゴ使用、広報協力

→異議なく承認された。

対象事業名：Tの極み 第5回単独ライブ

- ・開催日：2024年12月15日（日） 於：日本人会別館
- ・主催：よしもとエンタテインメント（タイランド）

・要請事項：ロゴ使用、広報協力
→異議なく承認された。

対象事業名：ウィンタースクール 2024

・開催日：2024年12月25日（水）～2025年1月6日（月）
於：コミュニティ英会話教室及びバンコク郊外の施設
・主催：コミュニティ英会話
・要請事項：ロゴ使用、広報協力
→異議なく承認された。

4. (情報共有) チャリティーバザーについて (事務局)

・9月29日（日）のチャリティーバザーにおいては、各方面にご協力いただき、感謝申し上げます。10月4日時点のバザー収支速報としては、現金寄付は企業・団体77社より825,700バーツ、ブース出店料として企業18社とJICA様による協賛金を合わせ260,900バーツ、商品売り上げ合計288,665バーツ、収入合計は1,375,265バーツ。支出は418,019バーツ。昨年2023年のバザーと比較して、商品売上は減少したものの、現金寄付は増加し、収支としては、967,245バーツ、前年より22万バーツ程上回る見込みである。尚、商品寄付として企業60社、買って応援ブース7団体、当日のお手伝いとして81名の方にご協力をいただいた。

・当日は2,328名の方にご来場いただき、ここ10年の記録と比べても過去最高の来場者を記録した。会員優先入場時間帯（10時～12時）に、600名程度が来場した。12時30分ごろにラッキードローが終了。12時30分ごろ、混雑がピークになったため、一時的に来場者が減ったものの、13時以降はコンスタントに来場があった。また、サイアム高島屋様スタッフによるパレードを12時、14時、16時の3回、サイアム高島屋館内全体と、アイコンサイアム4階・7階にて実施いただいた。

・9月21日（土）～9月29日（日）に絵画同好会・編み物手芸の会・クルンテープ写真倶楽部による同好会合同展示会をサイアム高島屋4階イベントスペースにてチャリティーバザーと同時開催した。

・バザー会場内のステージにて、ワットアルン CLC によるタイ舞踊の披露、同好会のゴスペルクワイヤー Phriks、女声コーラスのミニコンサート、青少年部剣道サークルによる寸劇・演武を披露した。

・演舞の披露に続いて、チャリティー団体によるトークショーも開催、シーカーアジア財団 (Feemue)、虹の学校、JICA、アカメーチャンタイコーヒー、ドイツン開発プロジェクト、White Canvas、ワットアルン CLC に登壇頂き、各団体の活動を紹介頂いた。

・司会進行はリポーター・インフルエンサーの石井エリ様に務めていただいた。

・来場者へ実施したアンケート結果を報告した。日本語版は130名にお答えいただき、「満足（とても満足・やや満足）」と回答した割合が86%、初めての参加が60%、会員率80%、過半数が在タイ3年未満の方であった。特に満足度の高かったブースとしては、ラッキードロー、キッズコーナー、サワディー品、サイアム高島屋ブース。お買い物した金額については、昨年度同様「500B～999B」と「1,000B～1,499B」と回答した方が多かったが、昨年度に比べ1,500B以上購入された割合が大幅に増加した。流入経路としては、昨年度はLINE、HP、Facebookなどのデジタル媒体が中心であったが、今年度はニュースレターが最多となった。英語版は19名にお答えいただき、「満足（とても満足・やや満足）」と回答した割合が94%、初めての参加が80%、特に満足度の高かったブースとしては、ラッキードロー、お買い物した金額については、昨年度同様「500B～999B」が最多で、流入経路としては、友人・知人からの口コミが最多であった。いただいた感想としては、「アイコンサイアムの買い物もできるし、アイコンサイアム開催でも良いなと感じた」、「今回の会場は綺麗でアクセスも良く、子どものトイレにも困らなくて良かった」など、今回商業施設のアイコンサイアムで開催した

ことによる前向きな意見をいただいた一方で「価格を記載していない商品が多く、買い物しにくかった」などのご意見もいただいた。来場した会員の方へお聞きした「日本人会の施設・活動で、普段よく利用するもの」については子ども図書館が最多となり、一般図書館、優待店を利用していると答えいただいた方も多かった。来場した未入会の方へお聞きした「日本人会の施設・活動で、興味があるもの」については優待店が最多となり、同好会、一般図書館、子ども図書館、タイ語クラスに興味を持っていただいている方も多かった。

- ・出店ブースへ実施したアンケート結果を報告した。22社にお答え頂き、売上目標達成についての質問に対しては、「目標を大きく達成した」が3社、「ほぼ達成した」が5社、「達成しなかった」が7社、「かなり下回った」が1社、「今回はチャリティーの為売り上げ目標を設定していない」が2社、「今回はチャリティーため売り上げ目標を設定していない」と答えた企業が4社であった。出店料の設定については、「高い」が6社、「妥当」が13社、「とても安い」が3社であった。出店された側として、「良かった（とても良かった・良かった）」と答えた割合が80%以上であった。

- ・ボランティアへ実施したアンケート結果を報告した。42名のボランティアの方にお答え頂き、初めての方が50%以上、お手伝いとしてご参加いただいたきっかけについては、所属団体経由での参加が40%以上、お手伝いのご負担については「特に負担を感じていない」が80%、会場の立地については「便利」+「普通」が70%以上、次回もお手伝いとして「参加したい」+「参加してもいい」と回答した方が90%以上であった。頂いたご意見や反省点については次回活かしていきたい。

- ・チャリティーバザーにおける事務局の業務分担について報告した。会場側との調整、寄付のお声かけなど中心に、三井物産様・高島屋様に全面的に協力頂き、事務局の負担軽減となった、一方で新規の企画（同好会の展示会やステージ、出店社のロゴ集め）もあり負担増となった部分もある。

- ・2024年チャリティー基金運営委員会のスケジュールについて報告した。11月の理事会で、委員長より委員を委嘱することになっている。また、昨年同様一般公募とし、申請期間は2024年11月18日（月）～2025年1月5日（日）、2025年2月7日（金）に第一回チャリティー基金運営委員会を開催し審議を行う。2月11日（火）の理事会にて、報告・審議、その後、3月～4月にかけて寄付金を贈呈する予定でいる。

5.（承認事項）タイ北部洪水被害支援について（大久保チャリティー基金運営委員長/事務局）

- ・9月より発生しているタイ北部を中心とした洪水では、21名の方が亡くなっており、（チェンライ県14名 パヤオ県4名 ランパン県3名）現在、洪水の地域は、下流域に移動してきており、アユタヤ・ピサヌローク・アントン県でも、水位が上昇し、3県で、13,413世帯が被害を受けている状況である。（社会開発人間安全保障省資料より）チャリティー基金より、洪水支援金として、タイ赤十字社に10万バーツの寄付を検討したい。チャリティー基金では、毎年一定頻度に発生する自然災害の原資として、年次平均で10万B程度寄付できる原資を確保し、運用している（8月末現在のチャリティー基金残高1579万B）参考に過去の日本人会・JCCの洪水支援についても報告した。

（チャリティー基金運営委員会規定）

寄付申請金額が、10万バーツ以上の案件については、委員会にて審議し、支出決定した場合、理事会に提案し、理事会の承認を得るものとする。

→異議なく承認された。

6. 各部・各委員会報告及び提案等（発表順）

（1）会報・広報部（井上理事）

- ・クルンテープ10-12月号を10月10日（木）に発送。特集はソフトボール大会、大鷹大使インタビュー、JICA・ODA70周年。

- ・ワム、パノーラ、タイ自由ランドの無料情報誌3誌に掲載する広告を紹介した。
- ・9月のホームページアクセス状況は、訪問数11,029、閲覧数24,874で、LINE配信した日の閲覧数が高くなった。前年同月比は、訪問数115.4%、閲覧数106.4%、前月比は、訪問数111.5%、閲覧数107.9%であった。タイからの訪問数は68.4%、日本からは24.4%。前月と比較し、タイからは10.4%増加、日本からは1.9%減少している。日本からの閲覧は、東京、大阪、神奈川、愛知、北海道の順に訪問があった。
- ・LINEは8回の配信、登録者は前月より54名増加し、8,103名。(有効者数4,192名)
- ・Facebookは63回の投稿、登録者は前月より207名増加し、3,737名。Facebookにおいては9月4日～9月28日の期間でチャリティーバザーの有料広告(タイ語)を3回にわけて掲載し、6.8万リーチ、2,791「いいね」を獲得した。
- ・Instagramは53回の投稿、登録者は前月より79名増加し、2,037名。
- ・X(旧Twitter)は15回投稿し、フォロワーは前月より25名増加し、1,368名となっている。

(2) 婦人部(服部理事)

- ・9月17日(火)の定例会、9/24(火)にバムルンロード病院講演会「いつまでも内面から美しく健康に」を日本人会別館にて開催し、24名の方にご参加いただいた。講師はバムルンロードインターナショナル病院エスペランスセンター自然医療医学専門医のDr.Brian Supawut Kunakom。
- ・10月の活動予定を報告した。10月15日(火)の定例会、10月30日(水)に「Ajinomoto Cooking Classでチャレンジ!タイ料理」をタイ味の素社内キッチンスタジオにて開催予定。

(3) 教育部(田中理事)

- ・9月19日(木)に日本人会別館にて「はじめての英検」講座を開催した。講師はコミュニティ英会話の枝雄二氏。30名(満員)に申し込みいただき、当日は25名にご参加いただいた。
- ・2024年度第2回英検について、4級・5級は、10月5日(土)、3級以上は、6日(日)に一次試験を開催し、合計314名の方に受験いただいた。二次試験は11月10日(日)に開催する。

(4) 厚生部(安江理事)

- ・9月の出産準備教室&すくすく会は、わんぱく広場「秋」、来タイ間もないママ集まれ、specialミュージックタイム等、14イベントを開催。来タイ間もないママ集まれば、20組にご参加いただき、タイに来たばかりの未就園児を子育て中のママたちと知り合うきっかけとなるイベントとなった。
- ・9月のメイド紹介ボランティアは、求人8名、求職12名、2組の成立となった。
- ・9月のみんなの相談室は9月13日(金)に「みんなのお茶会～小学生以上ママ集まれ～」を開催し、2名に参加いただいた。10月は15日(火)にタイで元気に働くためのメンタルヘルス入門を在タイ日本国大使館の共催で開催する。関西医科大学精神神経学教室の加藤正樹教授を講師に迎え、異国の地で働くご自身や周りの方のメンタルケアにお役立ていただけるようなセミナーとなる。

(5) 文化部(澤田理事)

- ・9月の活動について報告した。1日(日)に将棋同好会による将棋大会、21日(土)～29日(日)に編み物・手芸の会、絵画同好会、クルンテープ写真倶楽部による合同展示会をサイアム高島屋にて開催した。
- ・10月の活動予定について報告した。19日(土)～23日(水)に絵画同好会による作品展を開催予定である。

(6) 大使館代表(成嶋領事部長)

- ・第50回衆議院議員総選挙の在外公館投票を10月16日(水)～21日(月)の9:30～17:00に受け付ける。なお、衆議院議員総選挙等の実施により、10月12日(土)に予定されていた参議院議

員補欠選挙（岩手県選挙区）の在外公館投票は衆議院議員総選挙等と同時実施に変更となる。

（7）事業部（神原理事）

・9月14日（土）に瀧川福祉基金共催で「敬老の日祝賀会・敬老の日の集い」を開催し、今年の慶寿対象は1949年生まれ（丑年）の方2名を含む22名の方に参加いただきお祝いをした。在タイ日本国大使館より茂木領事にもご参加いただいた。

・9月19日（木）に日本人納骨堂秋季法要を執り行い、在タイ日本国大使館の大鷹大使、成嶋領事部長をはじめ、22名にご参列いただいた。法要終了後はご供物を頂きながら座談会が行われた。

<ご供花>在タイ日本国大使館様、盤谷日本人商工会議所様

<ご供物>日本料理屋「花屋」様

<お布施>小野雅司様、日高龍雄様、山田光英様、政岡絢子様、松浦孝次様、妙子ブンチャイ（森）様、杉本美智様、平川貴士様、山川喜美代様、黒川かほる様、黒川季代子様、松田福子様、CHIRAPORN NUALANANT(Sonoda)様

<前日のお掃除>日高朝代様、島田名津様、政岡絢子様、吉田幸江様

・9月の内野師の活動を報告した。法要や彼岸供養など執り行った。

（8）食堂運営委員会（石井理事）

・9月の食堂運営状況について報告した。

・日本人会本館にて英検試験があった10月6日（日）に食堂利用者からご指摘をいただいた件について報告した。

（9）学校代表（藤原校長）

・9月28日（土）に中学部で合唱祭を開催した。

・10月26日（土）に運動会・体育祭をナショナルスタジアムにて開催する。

（10）JICA代表（鈴木所長）

・チャリティーバザーにJICAの元協力隊員が多く訪れてくれた。良い機会をいただけ感謝申し上げる。

（11）JETRO代表（森下代表）

・9月24日（火）に開催したJETROバンコク事務所開設70周年行事（於：Park Hyatt Bangkok）は200名強の日タイ政財界の方をお招きし開催することができた。島田会長を始め、ご出席頂いた方に感謝申し上げる。

（12）青少年部（事務局）

・9月の活動について報告した。12日（木）にバレーボールサークルにてVリーグのコーチによるバレーボール教室を開催し、部員39名が参加した。大阪ブルテオン（旧：パナソニックパンサーズ）様のご協力で、ジャパンバレーボールアジアツアーで来タイ中のVリーグのコーチに直接指導をいただいた。

（13）企画推進部（事務局）

・9月の定期レッスンについて報告した。9月はアルティメットファイトを開催し、25名（満員）にご参加いただいた。レッスンはJSS Star Platinum Co., Ltd.へ委託して行った

・10月の定期レッスンについて報告した。姿勢改善フィットネス、タイ舞踊基礎クラス、タイ語基

礎クラス（リアルクラス）を開催中であり、24日（木）にサケコンシェルジュを開催予定である。

- ・11月の定期レッスンについて報告した。11月はタイ語基礎クラス（オンラインクラス）、HIITトレーニング、タイ料理クラス、大人向け英会話クラス・初級を開催予定である。

- ・11月9日（土）に元プロ野球選手のアレックス・ラミレス氏によるチャリティー野球教室を開催予定である。午前は日本人会・親子野球同好会向けに、午後は一般の方向けに実施する。なお、参加費はラミレス氏が代表理事を務めるVAMOS TOGETHERへ寄付をする。

- ・現在企画推進部会議で話し合っている制度改革としてのイベント・講座のプラットフォーム構築について報告した。拡充しているイベント・講座の情報を見やすく且つ効率的に運営できるようにポータルページ（日本人会HP内）と決済付き申し込みフォームを導入する。ポータルページ（日本人会HP内）については日本人会HPベンダーのe.pointへ依頼し構築し、決済付き申し込みフォームについてはGoogleが提供している「Googleフォーム」でのQRコード決済を試験的に導入しており、引き続き試験運用していく。

7.（情報共有）2025年会議日程・事務局休日（事務局）

- ・2025年の会議日程・事務局休日について報告した

8. 9月度理事会議事録承認

→異議なく承認された

9. 理事会出席者（敬称略、順不同）

島田会長、日高（丸紅）、室賀各副会長、米増、小田原、石橋、神原、大内、澤田、安江、河村、田中、服部、井上、大久保、石井各理事、宮口、井原各監事、成嶋在タイ日本国大使館領事部長、藤原バンコク日本人学校校長、鈴木 JICA 所長、森下 JETRO 代表、海津報道代表、猪股氏、長縄氏、江草氏、事務局（村上・小川・松田）